令和６年度　南信州広域連合自立支援協議会こども部会活動報告

１　令和６年度の活動目標

・地域で安心して生活を送ることができる支援体制を目指し、子どもの支援に関わる関係機関が意見交換、情報共有を行い、地域における課題の共有や地域資源の充実、支援機関のネットワーク作りを行う

・研修会等の開催と振り返りを行い支援力の向上とインクルージョンの推進を目指す

２　部会の開催日程及び取組内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催月日 | 参加者 | 内容等 |
| 第１回５月24日（金） | 37名 | 自己紹介　令和５年度活動報告および令和６年度活動計画について支援機関、事業所等の取り組みや事業内容、役割を知るミニ学習会「養護学校の性教育の現状について」 |
| 第２回７月12日（金） | 33名 | 学習会「保護者・家庭への支援と連携について」講師：南信教育事務所飯田事務所SSW　矢澤　朗子　氏意見交換 |
| 第３回９月20日（金） | 58名 | 研修会「発達障がいの基本的な理解と特性に合わせた支援　～成人期に向けて～」講師：県発達障がい情報・支援センターといろ副センター長　宮内　かつら　氏 |
| 第４回11月29日（金） | 88名 | 人材育成部会・こども部会　合同専門研修会「本人のライフステージと意思決定をどう支援していくか」講師：日本相談支援専門員協会顧問　福岡　寿　氏 |
| 第５回12月13日（金） | 23名 | グループワーク　前回の研修会の振り返り、各機関の課題共有など |
| 第６回2月21日（金） | 30名 | 令和６年度のまとめと令和７年度に向けた活動検討 |

３　活動成果

・年間通じて、発達障がいの特性に合わせた支援、保護者支援、成人期に向けた意思決定支援、性教育など様々なテーマで研修会を開催する事ができた。部会員以外の参加も多くあり、日々の支援につながる内容を職場や圏域内で共有することができ、地域の支援力の向上に繋げるきっかけになった。

・グループワークで研修会の振り返りや、意見交換を通じて他機関の業務内容を知り、課題を共有することができた。回数を増やして継続して欲しいという希望が多かった。

４　次年度に向けて検討すべき課題等

・引き続き部会員の学びたい事を踏まえた研修会を開催する。

・年齢が上がるにつれて、支援先や選択肢が少なくなっているのではという意見が多く聞かれた。圏域の社会資源について情報の把握や共有を行いたい。